

内蔵データカートリッジドライブユニット (PG-RD1021、PGBRD1021)

(1) 概要

2.5 インチ HDD をカートリッジ化してサーバへの着脱を可能とし、可搬性を持たせたデータカートリッジドライブユニット。データのバックアップを HDD に行うことでバックアップ業務の高速化とメンテナンスフリーをはかるとともに、サーバへの導入がしやすい低価格なバックアップ装置です。

(2) 特長

- ・2.5 インチ HDD を媒体として採用し、高速なデータバックアップ(最大 16MB/秒)が可能です。
- ・サーバへも導入がしやすい低価格を実現しています。
- ・周囲塵埃の耐性が高く、お客様によるお手入れが不要なメンテナンスフリーのバックアップ装置です。

(3) 仕様

項目	仕様	備考
製品名称	内蔵データカートリッジドライブユニット	
型名	PG-RD1021 , PGBRD1021	
インターフェース	USB 2.0	
データ記憶容量(*1)	40GB, 80GB, 120GB 160GB, 320GB, 500GB, 1TB (データカートリッジ種により異なります)	
データ転送速度(*2)	最大 16 MB/秒	
エラーレート	訂正不能エラーは 1×10^{-14} 乗bit のリードに1回以下	
外形寸法[mm]	幅 147.0 × 高さ 41.6 × 奥行き 171.1 5インチ内蔵オプションベイを1 スロット使用	ベゼル、コネクタ部を含む(突起は除く)
質量	635g (データカートリッジ含まず)	
消費電力	最大 20W	
発熱量	最大 72 kJ/h	
添付品	・ネジ [4 本] (*3) ・保証書 (*4) ・取扱説明書	・特に個数の記載のないものは数量1 ・データカートリッジは別手配。
適用機種	便覧またはシステム構成図参照	
適用 OS / ソフトウェア	バックアップ(装置・OS・ソフトウェア)適用一覧を参照	
データカートリッジの交換目安	500 回の挿抜、または 5 年。	

(*1) 容量表現は、1GB = 1000×1000×1000 byte で換算しています。

(*2) 転送速度は、1MB/秒= 1000 × 1000 Byte/秒で換算しています。

(*3) カスタムメイドサービスの場合、サーバ本体に組み込まれています。

(*4) 一般オプションのみ添付されています。

(4) 留意事項

以下に本装置の運用、取扱いに関する留意事項を記載します。
 詳細は本装置の取扱説明書およびバックアップソフトウェア等、関連製品の説明書を参照してください。
 また、別章(システム構築上の留意事項)の「バックアップガイド」の注意事項も参照してください。
 本装置の取扱説明書およびバックアップソフトウェアなどの関連製品の説明書を参照してください。

No	項目	内容
1	データカートリッジの取り出しについて	<ul style="list-style-type: none"> ・ OS 起動前にデータカートリッジの取り出しを行う場合は、イジェクトボタンを押してください。 ・ OS 起動後はイジェクトボタンを使用しないでください。 <ul style="list-style-type: none"> －Windows でデータカートリッジの取り出しを行う場合は、「エクスプローラ」などから『イジェクト』を選択して排出させてください。このとき、Administrator の権限が必要ですが、Windows Server 2003 の場合はユーザ権限の変更によって、他のユーザがイジェクトすることが可能となります。ユーザ権限の変更方法は取扱説明書に記載されています。 －Linux でデータカートリッジの取り出しを行う場合は、バックアップソフトウェアなどを終了し、unmount 処理を行った後、eject コマンドを実行してください。
2	Windows Backup ユーティリティ (NTbackup) について [Windows Server 2003 のみ]	<ul style="list-style-type: none"> ・ Windows Backup ユーティリティ(NTbackup)では、転送速度が7MB/秒程度の性能となります。また2巻にまたがるバックアップはできません。 ・ Windows Backup ユーティリティとエクスプローラを同時にアクセス(ファイルの読み書き)させないでください。エクスプローラがエラーで終了することがあります。 ・ Windows Backup でバックアップを行う場合は、「このバックアップでメディアのデータを置き換える」を選択してください。「メディアにこのバックアップを追加する」を選択した場合、残り容量が不足していると既存のバックアップデータが消失するため、選択しないでください。世代管理をスケジュール運用する場合は、複数のスケジュール(曜日毎、週毎等)でファイル名を変えて「このバックアップでメディアのデータを置き換える」で運用してください。 ・ Windows Backup でバックアップを行う場合は、「バックアップの後にデータを検証する」を必ずチェックしてください。検証を実施すると、目安としてバックアップ時間が約1.5倍かかります。
3	データカートリッジの取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・ データカートリッジはHDDを内蔵していますので、丁寧に取扱ってください。データカートリッジはある程度の衝撃にも耐える構造になっていますが、強い衝撃を受けると故障に直結する場合があります。強い衝撃を受けたデータカートリッジは使用せず、新しいものと交換していただくよう、お願いいたします。

4	その他の留意	<ul style="list-style-type: none"> ・ データカートリッジに OS をインストールして、本ディスクから OS を起動することはできません。 ・ データカートリッジ内を複数のパーティションに分割して使用することはできません。 ・ 本装置にデータ圧縮の機能はありません。領域を節約する場合には、Windows の「ドライブを圧縮してディスク領域を空ける」などソフトウェアのデータ圧縮機能を使用してください。 ・ 本装置をバックアップソフトウェアで使用している時にデータカートリッジの「ディスクのボリュームチェック」(チェックディスク)を実施しないでください。
---	--------	--

➤ **データバックアップ専用としてご使用ください。**

本装置はデータバックアップ専用の製品です。一次ストレージとして使用することは、データカートリッジが故障/破損した場合にデータ損失に直結するため、一次ストレージとしての使用は避けてください。

➤ **USB デバイスの扱い**

Windows などでは USB デバイスは取り外し可能な装置として扱われますが、本装置を運用中に「ハードウェアの安全な取り外し」の操作を行うと、再度認識させるためにはサーバのリブートが必要になります。

OS 動作中は本装置の取り外し操作を行わないでください。

➤ **Windows Server 2008 及び Windows Server 2008 R2 使用時の注意**

Windows Server 2008 及び Windows Server 2008 R2 で本装置をご使用になる場合は、別途専用のバックアップソフトウェアが必要になります。

尚、本装置をサポートするバックアップソフトウェアについては、別章(システム構築上の留意事項)の「バックアップガイド」を参照してください。

(5) サプライ品

本装置のサプライ品には以下の物があります。

データカートリッジは当社指定のサプライ品の使用を必須とします。

品名	商品番号	出荷単位	仕様	
			記録容量(*)	初期フォーマット
データカートリッジ RD 40GB	0162110	1 巻	40GB	NTFS
データカートリッジ RD 80GB	0162120	1 巻	80GB	NTFS
データカートリッジ RD 120GB	0162130	1 巻	120GB	NTFS
データカートリッジ RD 160GB	0162140	1 巻	160GB	NTFS
データカートリッジ RD 320GB	0162150	1 巻	320GB	NTFS
データカートリッジ RD 500GB	0162160	1 巻	500GB	NTFS
データカートリッジ RDX 160GB	0162141	1 巻	160GB	NTFS
データカートリッジ RDX 320GB	0162151	1 巻	320GB	NTFS
データカートリッジ RDX 500GB	0162161	1 巻	500GB	NTFS
データカートリッジ RDX 1TB	0162170	1 巻	1TB	NTFS

(*) 記憶容量は、1GB = 1000 x 1000 x 1000 byte 換算、1TB=1000 x 1000 x 1000 x 1000 byte 換算です

問い合わせ窓口:

富士通コワーコ株式会社 <http://jp.fujitsu.com/group/coworco/>

富士通コワーコお客様総合センター 0120-505-279

月～金 9:00～17:30(祝日・年末年始除く)

(6) 接続条件

➤ サーバ内蔵ベイ接続

サーバの内部の USB ポートとの一対一接続のサポート。

サーバ1台に対して、本装置は1台のみ接続可です。(複数台の接続は未サポート)

サーバ	接続ケーブル
TX100 S2 ECONEL100 S2	別途手配 PG-CBLU005 または PGBCBLU005
TX150 S6	サーバ本体に標準実装済
RX600 S4	別途手配 PG-CBLU004 または PGBCBLU004

➤ PRIMERGY SX10 S2(バックアップキャビネット)接続

サーバの外部 USB ポートとの一対一接続のみサポート。

サーバ1台で SX10 S2 に搭載した複数の本装置へ接続することはできません。

各サーバとの接続は、バックアップキャビネット PRIMERGY SX10 S2 の記事を参照ください。